

日本図書館研究会 2025年度図書館学セミナー

塩尻市市民交流センター（えんぱーく）における『機能融合と連携』について

長野県塩尻市市民交流センター
塩尻市立図書館
矢澤 昭義



桔梗ヶ原 ブドウとワイン
木曽漆器
中山道宿場町奈良井宿

長野県塩尻市
自古から多くの文人、学者らが古田を慕い交流
多彩な暮らしが叶えるまち。
-田園都市しおじり-

出版人 古田 紘 ふるた あきら
明治39年（1906）～昭和48年（1973）
東筑摩郡筑摩地村（現塩尻市）生まれ
昭和15年（1940）筑摩書房創立

戦中・戦後にかけて多くの文人、学者らが古田を慕い交流
中野 重治 野間 宏
宮本 百合子 武者小路 実篤
宇野 浩二 丸山 眞男
川端 康成 唐木 順三
小林 秀雄 白井 吉見
谷崎潤一郎 西脇 順三郎
島崎 藤村 永井 荷風
椎名 賢三 太宰 治

古田 紘 出生の地
古田 紘記念館

塩尻市市民交流センター
えんぱーく
基本コンセプト
知恵の交流を通じた
人づくりの場
■2010年開館
■図書館を核とした複合施設
シニア活動、ビジネス、子育て、
青少年交流、市民活動

建設の経緯（市民参加の施設計画）

新しい市立図書館への期待
平成15年度 「市立図書館の在り方ワーキンググループ提言書」
「市民交流センター」の計画の具体化
平成16年度 「市街地総合再生計画」、「市街地再開発事業基本計画」を策定
中心市街地活性化策として図書館を核とした複合施設建設設計画が具体化
平成17年度 市民を交えた「ワークショップ」、「飛び込み市民会議」、議会の「中心市街地活性化対策特別委員会」等で協議
「市民交流センター整備の基本方針」を策定

日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

建設の経緯（市民参加の施設計画）

- ▼
平成18年度 「市民交流センター創造会議」を設置
①「図書館施設」、②「子育て青少年施設」、③「シニア施設」、④「市民活動施設」、⑤「ビジネス支援施設」の5部門の専門部会
- ▼
「市民交流センター建築構想」、「基本設計」、「実施設計」の内容を協議
- ▼
実施設計 公募型プロポーザル
柳澤潤氏 97枚の壁柱を特徴とした案を採用
- ▼
市民ワークショップの議論を設計に反映

建設の経緯（市民参加の施設計画）

市民交流センターに関する主な会議と市民参加（平成15～22年度）

年度	会議と市民参加	会議回数	参加者数 (人)	策定等
15	中心市街地活性化ワーキンググループ	34	489	中心市街地活性化の玉手箱 (H16年3月)
15	市立図書館の在り方ワーキンググループ	33	501	市立図書館の在り方ワーキンググループ提言書 (H16年3月)
16～17	中心市街地活性化まちづくり協議会	8	223	
17	飛ひ込み市民会議	42	1,500	
17	図書館基本計画策定懇話会	30	366	塩尻市立図書館基本計画 (H18年4月)
18～20	市民交流センター創造会議	14	329	専門家や実践活動している委員で構成。建築構想、運営管理方針、要件、基本設計、実施設計等について協議
18	設計者選定会議（公募型プロポーザル）			提出191点
18				塩尻市市民交流センター建築構想 (H18年7月)
18～19	市民ワークショップ	9	210	
18～20	個別ワークショップ 説明会	多數		子育て、図書館など分野
18				塩尻市市民交流センター 基本設計 (H19年3月)
19				塩尻市市民交流センター 実施設計 (H19年12月)
20	サポート組織設立準備会	16	199	応募654点、投票1,446票
20	市民交流センターを称「えんぱーく」に決定			塩尻市市民交流センター運営管理方針 (H20年5月)
20～	サポート組織「えんぱーく」			「えんぱーくらぶ」設立 (H21年2月)
				全体会14回

各階平面図 1階

エントランスホール
図書館
子育て支援センター
民間飲食・販売店
多目的広場

4つの吹き抜け
水のコート
太陽のコート
森のコート
月のコート



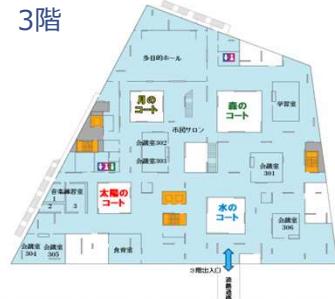
各階平面図 2階

図書館
会議室（4室）
ICTルーム
市民活動団体の活動
スペース
・協働オフィス
・フリー・コミュニティ
総合窓口
事務室



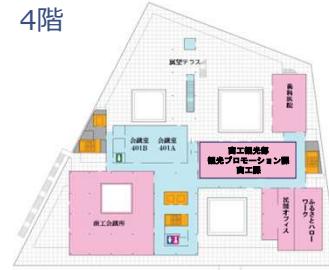
各階平面図 3階

多目的ホール
会議室（6室）
学習室
食育室
音楽練習室（3室）
市民サロン
市営駐車場への連絡通路

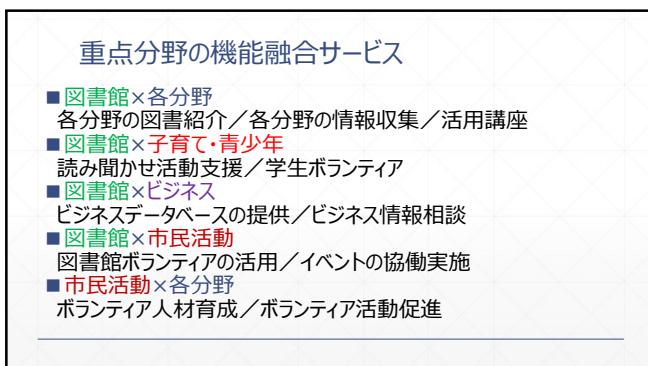
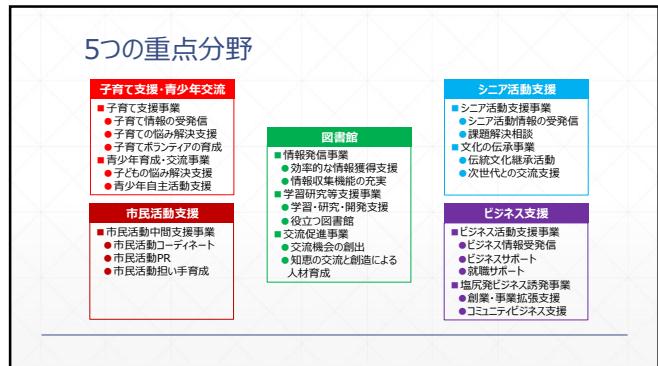
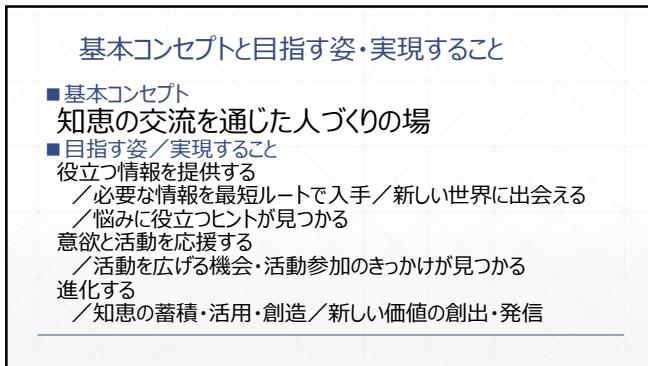
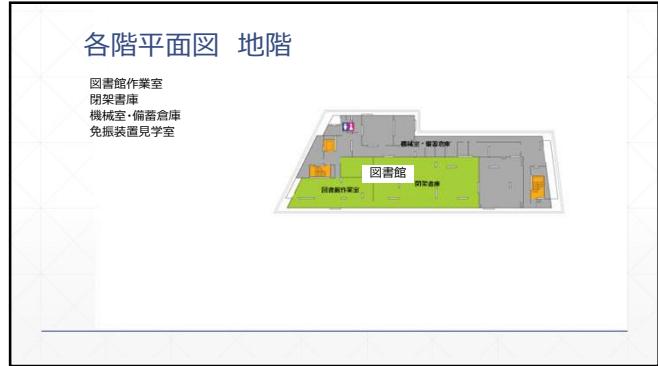


各階平面図 4階

会議室
市商工観光部
商工課
観光PR・マーケティング課
塩尻商工会議所
ふるさと口頭ワーク
歯科医院
民間オフィス
展望テラス



日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）



日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

塩尻市立図書館の概要

■本館

1971年開館、2度の移転を経て現地に2010年開館

■分館

8分館（小学校区ごと、支所に併設、8千冊～3万冊）

■新館整備

広丘分館→北部交流センター広丘図書館 2019.7開館

樅川分館→保健センター改修・移転 2019.10開館

塩尻市立図書館の基礎数値・利用状況

■蔵書数（2024年度末）

本館 43万冊

（開架20万6千冊、閉架22万4千冊）

8分館計 9万5千冊（すべて開架）

このほかに

雑誌：4万3千冊、視聴覚資料：1万3千点

塩尻市立図書館の基礎数値・利用状況

■年間貸出数（2022年度・2023年度・2024年度）

全館 69万冊余・67万冊余・58万冊余

個人貸出数 68万1千冊・65万1千冊・54万3千冊

団体貸出数 4万2千冊余（小中学校・保育園・読み聞かせ団体など）

■市民一人当たりの貸出数

9.83（2022年度）、9.54（2023年度）、8.2（2024年度）

■利用者数 個人：13万7千人 団体：5千件

塩尻市立図書館本館の概要

■床面積 3,286m²（地下1階：閉架書庫、1・2階：開架）

■職員数 36人（正規職員：6人、会計年度Ⅰ種：17人、Ⅲ種：13人）

■収容能力 49.5万冊（開架：26万冊、閉架：23.5万冊）

■検索機 10台 ■セルフ貸出機 4台

■閲覧席 141席 ■データベース 8契約

■貸出用PC 13台（無線LAN）

塩尻市立図書館の予算

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
図書館費	255,188千円	257,503千円	271,886千円	276,859千円	299,756千円
図書費	27,800千円	27,776千円	27,776千円	27,776千円	27,734千円
新聞雑誌費	6,017千円	5,410千円	5,420千円	5,440千円	5,140千円
視聴覚資料費	2,200千円	2,224千円	2,224千円	2,224千円	1,261千円
電算機器使用料	17,422千円	21,327千円	21,327千円	21,291千円	21,291千円
人件費	177,719千円	180,300千円	196,306千円	202,044千円	224,186千円
古本記念館経費	2,442千円	3,651千円	3,112千円	2,065千円	5,238千円
その他経費	21,588千円	16,816千円	15,721千円	16,019千円	14,906千円

資料との出会いの多い図書館

■排架 書架を高く設定（壁面開架書庫）、余裕を持った排架（表紙見せ）

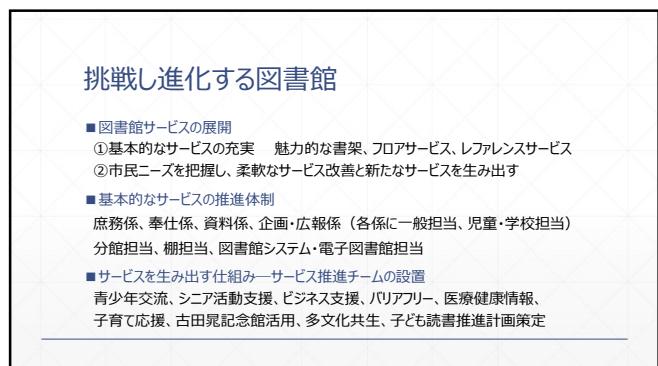
■混排 参考図書・文庫・新書・AV資料、NDCを基本にしつつ利用者視点で排架

■別置 ワイン・短歌・闘病記・緩和ケア・旅・仕事・児童文学・文学研究など

■複本 一般書は、原則複本を所蔵しない。ただし、予約件数が多い場合は追加で購入する。予約15件：2冊目、35件：3冊目、55件：4冊目

■テーマブックス 旬な話題や季節のテーマなどで積極的に設置

■常設企画展示 様々な企画展示で関連資料との出会いを創出



日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

積極的な情報発信

- こども図書館だより
- WAKABA ヤングアダルト情報紙
- Book Fan Newsletter 書店員と図書館員おすすめの本
- ホームページ イベント情報、テーマブックスほか
- FaceBook ほぼ毎日投稿、Instagram 2021年度から
- パブリシティ 新聞記事掲載回数 2023年度：201回

Book Fan Newsletter 書店員・図書館員おすすめの本の情報紙

「塩尻市立図書館では、同じ本を複数冊買うことを減らし、その分幅広いジャンルから本を買っています。話題の本などは予約が多く入ると、長期でお待たせしてしまう場合もありますが、書店に行くとすぐに購入できることも。便利に使い分けていただき、充実した読書ライフをお過ごしください。」



重点事業 信州しおじり本の寺子屋

テーマ 「本の可能性を考える」

- 著者、出版社、書店、図書館が連携し、市民と共に本の魅力を考え発信し、出版文化の未来に寄与する。
- 図書館が力をつけて、市民の役に立つ図書館として進化する。
- 地方発の文化の創造と発信に挑戦する。

年度	講師等（敬称略）	参加者数（回数）
2012	佐保信、遠東幸祐、さじとうしづ、中山玲子、根本彰、色川大吉、小林隆志、藤原成一、谷川俊太郎、大井作み、秋本敏	1,121人（15回）
2013	松木健一、森一郎、福島泰季、いせひでこ、斎藤誠一、常世田良、熊沢敏之、広瀬恒子、柳田邦男、竹内利明、池内紀、杉山亮	1,055人（15回）
2014	島田雅彦、高橋源一郎、くすのきじゆのり、松井祐輔、酒井潤一、五十嵐綾子、井出添六、嶋田学、塩澤美信、斐尚中、小島九郎、斎藤寅爾、宮田政幸、小林毅、酒井倫子	880人（15回）
2015	赤木かん子、鎌田慧、吉岡向、上野千鶴子、大下英治、藤田利江、大西暢夫、渡部幹雄、永江朗、小池昌代、正津勉、星野涉	936人（13回）
2016	高橋徹介、水原紫苑、山口泉、植田康夫、中山美由紀、中沢れい、蓬島誠一郎、川鍋雅則、三島利徳、柏原成光、村上しのこ、間村俊一、尾川洋治、豊田高広	775人（14回）
2017	高橋武、河谷史夫、内野安彦、齋藤美奈子、田中欣一、長野まゆみ、小林浩、佐野真一、橋口俊之介、じょのかわじ、持田剛一郎、小畠唯子、酒井京子、原田眞人、田下昌志、丸山暉、森田牧夫、大西暢夫	1,239人（16回）
2018	高橋伴明、横松美千鈴、久助十義、大空翼、佐藤喜子、丸山光枝、田嶋江里、澤宮徹、小寺卓矢、井出彰、高橋佑裕、金原瑞人、サクラヒ、山本完俊、石井七七子、蓬田雅之、中澤雄大、古賀智之、鶴と亀、イルクジ画廊、ナショナルジオグラフィック	1,123人（16回）

年度	講師等（敬称略）	参加者数（回数）
2019	三田誠広、富士眞奈美、外岡秀俊、島田英昭、清水眞砂子、階矢なな、鎌田實、藤沢周、和田登、角野栄子、錦克映理子、東直子、鶴哲佑夫、鶴村弘、堀井正子、櫻井寛、香川元太郎、森内正幸	1,480人（16回）
2020	三浦雅士、高橋純子、後藤正治、鎌田和宏、伊東直登、養老孟司、中上紀、じごんしゃ、高山秀士、鈴木一男、若瀬成子、魯日太一、松本侑子、阿佐元明、富澤一誠、丸山真一、村土康成	710人（11回）
2021	佐高信、森ゆみ、手塚美希、小谷田照代、養老孟司、小畠今日子、土野千鶴子、いしかわこうじ、内藤いづみ、堀井正子、崎沢真也、高橋純子、八木秋美、玉手洋一、高安陽子	1,349人（12回）
2022	荒川洋治、佐野寛、木暮成一、常世田良、田中麗子、浅野亮夫、立花珠樹、小堀今日子、庭井史絵、赤坂意雄、加古陽治、矢崎節夫、秋野瞬、山家望、白井高源、長野千子、田畠雅志、村上康成	2,163人（17回）
2023	齊藤政喜、鶴原廣、上野千鶴子、広村由紀子、大槻慎二、高澤慶子、嶋田学、高橋敏夫、望月衣塑子、與珠ひで、増田美江、野々井透、安藤宏、三浦雅士、安藤敦、佐藤裕子、久間千義、いみどしお	1,135人（16回）
2024	福島 泰樹、蒲谷 妻子、是住 久美子、山本 一力、中川 ひろたか、龜山 郁夫、加藤 隆子、青木 いず美、伊藤 純郎、三浦 美之、福岡 幸一郎、松本 猛、西村 琴、永江 朗、岡川 夏央、ねじめ 正一	1,327人（15回）

年度	講師等（敬称略）	参加者数（回数）
2025	三島 利徳、内田 皓、柴田 久、大島 新、清水 智、原 武史、五味 太郎、後藤 正治、石井 正己、佐藤 翔、市街地 キャラ、菊池 明郎、正津 勉、矢沢 健太郎、三宅 香帆	人（回）

信州しおじり本の寺子屋 講演会



朗読会
谷川俊太郎氏 2013.1



小説の行方 2014.5
高橋源一郎氏・島田雅彦氏

信州しおじり子ども本の寺子屋

本の可能性を子どもたちと考える。

- 目指せ！図書館マスター 本を知り図書館を知る
- ワークショップ 絵本づくり、POPづくりなど
- 本ができるまでツアー 印刷会社、製本所
- ファミリーコンサート おはなしの世界を音楽とともに楽しむ

目指せ！図書館マスター



子ども本の寺子屋 ワークショップ



tupera tupera となりきりお面を作ろう
tupera tupera 龜山達矢氏, 2018.3



子ども本の寺子屋 ワークショップ



本ができるまでツアー
美鴻堂, 2017.7



自分の名前で絵本をつくろう！
さいとうしのぶ氏, 2019.7

書籍出版

『「本の寺子屋」が地方を創る 塩尻市立図書館の挑戦』
「信州しおじり本の寺子屋」研究会・著, 2016.5, 東洋出版

【本の帯から】

“「本」の可能性を考えたい”をテーマに掲げる図書館員と、その言葉を信じる市民、本をめぐる人々の物語。

未来は、ここから開かれる

長野県中央に位置する人口6万7千人の小都市。

ここには、多くの小説家、評論家、詩人、歌人、俳人たちが訪れる。

その理由とは？



日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

書籍出版

『「本の寺子屋」新時代へ 塩尻市立図書館の挑戦2』
「信州しおり日本の寺子屋」研究会・編, 2021.7, 東洋出版
【本の帯から】

図書館のあり方を考えるすべての人へ
「本」の可能性を考えたいをテーマにしたプロジェクト—
「本の寺子屋」が塩尻市立図書館でスタートして10年。
その活動は全国へと広がり、さらに拡大する様相を示している。
70名を超える歴々の講演者によるエッセイ、
図書館職員・参加者の声をてがかりに、
地域に根ざす公共図書館の未来の姿を見きわめる。



書籍出版

『古田晁と臼井吉見の55年6か月』
臼井高瀬, 2023.3, 塩尻市立古田晁記念館
(信州しおり日本の寺子屋古田晁記念館文学サロン講演録)

旧制松本中学入学で出会い、戦時下に筑摩書房を創業し、
戦後の苦境を乗り越えて出版に人生を捧げた二人。
古田晁と臼井吉見の交友を語った講演録。
話者は臼井吉見の長男である臼井高瀬さん



図書館の連携協力に関する同盟

2019.12.19締結

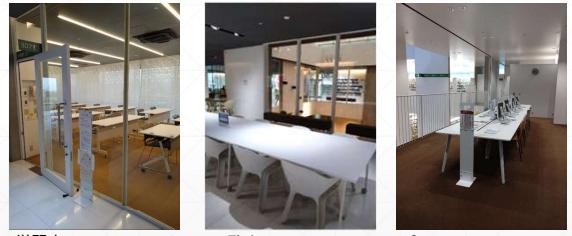


神奈川県大和市「文化創造拠点シリウス」
岐阜市「みんなの森ざふメディアコスモス」
塩尻市「市民交流センターえんぱーく」

- ▶事業の情報交換
- ▶事業の共同実施
- ▶事業の共同調査・研究

(目的) 第1条 本同盟は、自治体が掲げる様々な課題の解決を目指し、複合施設の中核施設となっている図書館において、これまでにない取組を先駆的に展開する自治体が同盟を締結し、互いに持つノウハウやアイデアによって連携・協力し、より多くの市民にとって魅力的な図書館の運営や読書活動の推進に寄与することを目的とする。

図書館から見た閲覧席、学習室、PCコーナー、フリースペース



学習室 閲覧席、フリースペース パソコンコーナー

図書館児童コーナー × 子育て支援センター



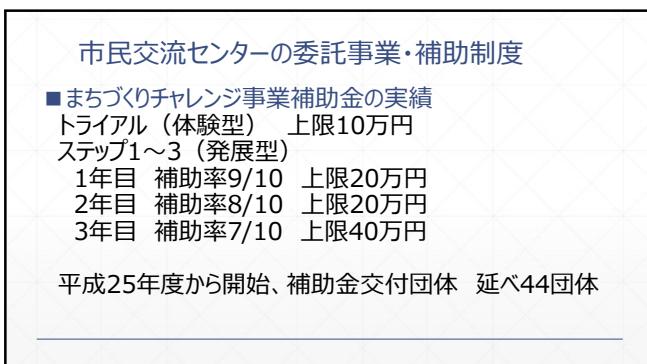
子育て支援センター 図書館

図書館児童コーナー × 子育て支援センター

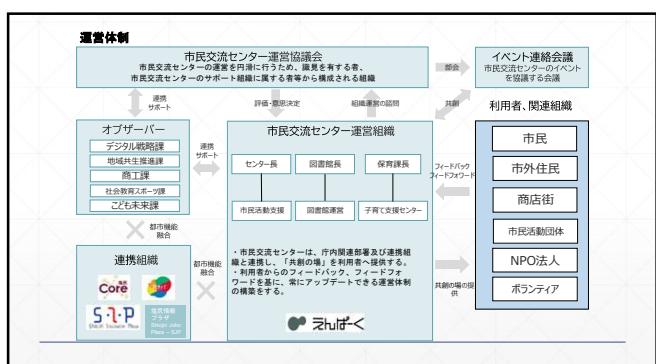


子育て支援センター 子育て応援コーナー

日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

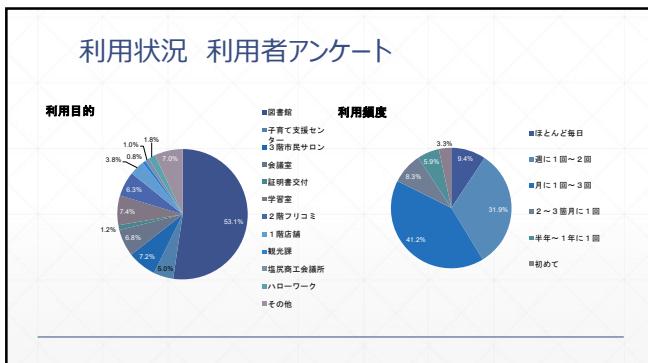
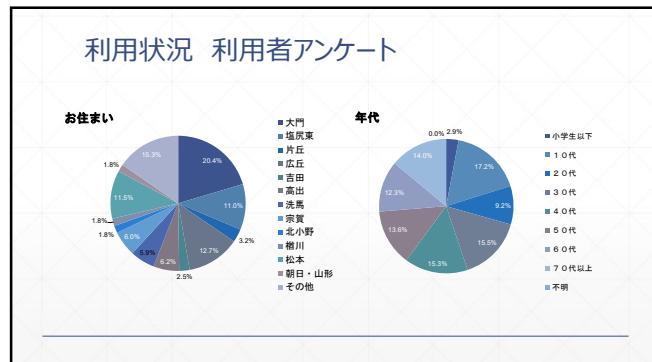


日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）



日本図書館研究会2025年度図書館学セミナー資料（塩尻市立図書館）

利用状況 来館者数・視察者数															
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
来館者 (万人)	41.0	59.3	63.9	66.9	66.2	67.1	65.9	68.8	68.3	64.3	47.1	50.1	50.0	52.7	37.4
累計 (万人)	41.0	100.3	164.2	231.2	297.4	364.5	430.4	499.2	567.5	631.8	678.9	729.0	779.0	831.2	869.1
視察者 市内：人	2,022	670	592	181	582	427	417	519	423	288	249	268	432	100	95
視察者 市外：人	921	831	517	881	582	749	672	747	722	607	85	133	305	283	71
視察者 合計：人	2,943	1,501	1,109	1,062	1,164	1,176	1,089	1,266	1,145	895	334	401	737	383	166
視察者 累計：人	2,943	4,444	5,553	6,615	7,779	8,955	10,044	11,310	12,455	13,350	13,684	14,085	14,822	15,205	15,371





広丘図書館の概要

- 床面積 288m² (図書室、フリースペース、事務室)
- 職員数 8人 (会計年度フルタイム：5人、パートタイム：3人)
- 収容能力 3万5千冊 (開架のみ)
- 蔵書数 3万冊
- 開館時間 平日 9:30～19:00、土日祝 9:30～18:00
- 休館日 月曜日
- 貸出数 169,893冊 (2023年度) 211,264冊 (2024年度)

塩尻市立図書館が大切にしている言葉

「…このパルプ飢餓のさなかに、敢て出版事業を企てる私にとって、かの太古の哲人たちが、木を切り、竹を割き、一字一字を彫りつけて、正しい知識と情熱とを世に広めたことに思ひをいたすことは、おのづから私をして決意せしむるものがあります。…」



昭和15年1月1日 筑摩書房 古田 晃

ご清聴ありがとうございました。